

日本を見つめ直し、楽しく生活、仕事しましょ、シリーズ。

1945年第2次世界大戦日本の敗戦まで、日韓併合を含む日本の影響下でおこなわれた朝鮮の近代化は欧米列強国の一方的な利益獲得、搾取と一線を画すものでした。

ほぼ同時期に、ほぼ同じような統治がおこなわれた台湾とともに、欧米列強国が植民地支配した多くの国と比べ、日本の統治下にあった韓国・台湾のみが現代において近代工業国として成功していることがその証明と言われます。以下、朝鮮の近代化の為に我々の先人のした努力のごく一部を簡略し、まとめます。

○併合にあたり明治天皇は3000万円の寄付（恩賜金）を贈り、約3分の1は功績のあった貴族、学者、窮乏している未亡人、孤児に使われ、残りはその利子によって民のために様々な形で援助できるような恒久的な資金として蓄えられました。国家元首から民への愛情のこもった寄付は、欧米列強国の植民地でおこなわれたことはありません。

※金額はフィリピン植民地化において、米国がスペイン政府に支払った4分の3にあたります。

○民の約半数におよぶ働かず搾取し、近代化最大の抵抗勢力であった両班貴族階級の廃止を誘導完成させ、民の30%を占める、奴隷の解放をしました。身分制を廃することで民主化の種をまき、民の潜在的な力を発揮できる環境をつくりました。

※奴隷の解放は列強国の有色人種に対する強制労働、奴隷化の歴史とは観念が真逆です。

○民のほとんどが文盲であったため、福沢諭吉は過去に破棄され、一般的にほとんど使われていなかった習得しやすい表音文字であるハングル文字の使用を提案しました。ところが、当時の朝鮮語は地方により発音、語法がばらばらで、井上角五郎等の努力により、ソウルの発音語法を標準とし、体系化・ハングル表記の統一をおこない、1894年勅令1号、公文として使用することが決まり、普通学校用諺文綴法が定められ、ハングル文字の教育、文盲の改善がはじまります。李氏朝鮮が近代教育施設を全く作らなかったのに対し、1944年には公立学校5213校をつくり、239万の民が学ぶことができるようになり、大学も設置されていました。欧米列強国は植民国を支配しやすいように文盲を放置するか、フィリピンのように英語教育で民族固有の言葉を失わせる政策をとりました。

○排泄を道など公共の場とする等、公衆衛生・清潔の観念が希薄で、コレラ、赤痢等の感染症の大流行がたびたびおこり、寄生虫が蔓延していました。統治後、まずおこなったことは、日本人医師50人が地方警察に配置され検疫、公衆衛生の監督を始めました。併合の年、1910年に隣の満州で5万人以上が死亡したペストが発生しましたが、ねずみの殺傷を進め、検疫を強化し朝鮮におよぶことを防いでいます。

通商の基本となる道路とよべるものは清の使節を迎えるための約80kmしかなかった為、1~3級道路を規定し、1923年までに16000kmが整備され、無秩序であった街路、皆無であった上下水道の大規模な整備を初め、朝鮮に存在しなかった鉄道は6632kmに達し、762の駅を作りました。

○金融機関が無かった朝鮮に近代的貨幣制度が導入され、朝鮮で始めて紙幣が発行され併合初期の民が困っていたインフレーションに対処しました。

○耕地面積はほぼ倍になり収穫が豊かになり、公衆衛生の普及とともに併合時の人口1312万は1942年までに2552万人とほぼ倍増、列強国支配国と異なり併合期間中一度も飢餓による死者はでませんでした。

○敗戦、朝鮮独立にあたり、朝鮮に投入された膨大な日本からの資金は、オランダがインドネシアにおこなったように国際法上請求が可能でしたが、日本はそれをおこなうことはありませんでした。

朝鮮と異なり日本統治に感謝する李登輝台湾前総統の言葉を簡略抜粋し記します。

「台湾人は今でも日本の方々を尊敬しています。社会基盤を作ってくれた以上に公に奉ずる精神、仕事に対する熱心さが社会的正義感に基づいていること、口先でなく真心をもって必ず実行すること。これがほかの国には絶対のない日本の精神です。」

よく見る従軍慰安婦像は従軍慰安婦像ではない。という記事要約

2002年6月13日、在韓米軍の装甲車による事故でシン・ヒヨスン、シム・ミソン二人の女子中学生が亡くなりました。その後、反米活動家の彫刻家キム夫妻がシム・ミソンさんの像を作成し、米大使館近くに設置しましたが、韓国行政当局は米国との摩擦を避けるために撤去しました。その後、この像に目をつけた韓国挺身隊問題対策協議会が従軍慰安婦像として使用するようになります。これに対して日本のマスコミが彫刻家に取材を試みましたが応じなかったようです。

月刊誌WILL 2017年10月号、週間文春2017年12月7日号